

## 宮崎労働局長による「働き方改革」企業トップへの働きかけ

— 米良電機産業株式会社 —

平成 28 年 9 月 26 日、元木宮崎労働局長が、米良電機産業株式会社の代表取締役社長である米良 充典氏を訪問、「働き方改革」への取組状況をお聴きし、更なる取組への推進をお願いいたしました。

訪問企業名	米良電機産業株式会社
所在地	宮崎市
従業員数	100人
事業内容	電設資材販売

### 1 長時間労働抑制の取り組みを実施！

超過勤務は、以前は多かったが、年間平均1か月残業平均35.46時間くらいになり、1日多くても3Hとなった。

残業が多く発生する時期は決まっており、営業所毎に開催する展示会準備や、月末から月初めは多くなりやすい。人数が多い出先はフォローできるが、2～3人の営業所は難しい。以前、社長が20時で帰宅したところ、10分以内に社員は皆帰宅した。

専務は17:15に帰宅している。社長はドアを閉めて残業し、社員が気兼ねなく帰宅できるようにしている。

### 2 休みやすい職場環境づくり

社員には休むのも仕事だと言っている。

年休は今後の予定とか病気に備えている社員もいる。

### 3 給料・賞与等

給料は、年齢給・勤続給・職務給（人事評価で支給する）で支給する。人事評価は、最後は取締役で評価する。

社員の時間と能力を買わせてもらっているので、お金で支払う。言葉は望むなどいつている。しっかり資金を捻出出来る体制を整えつつ、何よりも地域と社員へ還元出来るように努力している。

社員のために、展示会等催事における売り上げに対する賞金として、1位に50万円、2位に40万円、3位に30万円支給し、それ以外は賞金の額を低くしたり、グループ毎に賞金を支給している。

#### 4 職場環境に対する援助の実施

当社は3K（危険・汚い・きつい）業務に準ずるような職場である。

グループ企業の株式会社共立電機製作所は、部門毎に業務内容が異なり、頭脳部門と肉体部門がある。肉体部門だと40歳以降は業務遂行が厳しくなる。現場は同じような姿勢で勤務せざるを得ず、このため、毎週水曜日にあんまを頼み、対象者60～70人の申出があれば1人平均20分であんまを利用できるようにしている。

#### 5 女性の活躍促進

主任の女性が複数いるが、能力があるのに昇進を打診しても希望しないことが課題である。女性を複数昇進させる方法など、女性の活躍促進について検討して参りたい。

株式会社共立電機製作所では、女性が4人育児休業を取得した。妊娠したら、職場で体調に配慮をしている。

#### 6 奨学金の返済で悩む社員

奨学金による借入れが多い若い社員は、返済額の多い者で月々4万円近くの返済を30年近くする必要があるので、課題となっている。

労働は美しい。労働には義務・責任を伴う。



左：米良充典・代表取締役社長、右：元木賀子・宮崎労働局長